



2021年8月13日

各 位

会 社 名 株式会社リファインバースグループ
住 所 東京都中央区日本橋人形町三丁目10番1号
代 表 者 名 代表取締役社長 越 智 晶
(コード番号: 7375)
問い合わせ先 取 締 役 青 木 卓
TEL. 03-5643-7890

上場廃止になった子会社（リファインバース株式会社）に関する決算開示について

2021年7月1日をもって完全子会社化したリファインバース株式会社に関する「2021年6月期決算短信(2020年7月1日から2021年6月30日まで)」について、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2022年6月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2022年6月期通期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ
 （リファインバース株式会社分） 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL <http://www.r-inverse.com>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）越智 晶
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）青木 卓 TEL 03 (5643) 7890
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月30日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年6月期の連結業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	2,722	1.0	△50	—	△74	—	△170	—
2020年6月期	2,694	6.7	△178	—	△208	—	△268	—

（注）包括利益 2021年6月期 △170百万円（—%） 2020年6月期 △268百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	△52.42	—	△49.9	△2.6	△1.8
2020年6月期	△88.18	—	△58.2	△7.0	△6.6

（参考）持分法投資損益 2021年6月期 —百万円 2020年6月期 —百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	2,914	370	12.2	107.98
2020年6月期	2,872	337	11.4	107.42

（参考）自己資本 2021年6月期 356百万円 2020年6月期 327百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	62	△56	68	488
2020年6月期	54	△143	145	414

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期	3,299,821株	2020年6月期	3,049,950株
2021年6月期	一株	2020年6月期	129株
2021年6月期	3,253,246株	2020年6月期	3,049,826株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、機関投資家・アナリスト向け説明会の実開催は行わず、説明会動画を決算補足説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。掲載の時期につきましては改めて当社ウェブサイトでお知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において当社グループは、依然として新型コロナウイルス感染症が収束する見通しが立たない中、既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。

2019年6月期より新規事業への先行投資による営業赤字が継続していましたが、当下期連結会計期間では新規事業が軌道に乗り始めたこと及び既存事業の収益力の向上によって連結営業黒字に転換いたしました。

既存事業においてはカーペトリサイクル事業ではコロナ禍でコストコントロールを徹底してきたことによる原価低減効果及び原状回復工事の増加により廃カーペットタイトルの受入処理量が増加したことなどにより利益が増加しております。また産廃事業においては当下期連結会計期間において過去最高の受注件数を獲得したことで売上、利益ともに大きく増加しております。

新規事業では高機能樹脂事業において工場の生産性が継続的に改善しており、それに伴いリサイクルナイロン樹脂「REAMIDE(リアミド)」の生産高及び売上高が大きく伸びており、当事業における赤字が大幅に縮小しました。また漁網リサイクルに関するライセンス契約に伴う売上やリサイクルに関するコンサルティング受託による売上といったソリューション事業の収益など各事業部門で売上・利益を伸ばした結果、当下期連結会計期間では連結営業黒字となりました。

今後は新規事業においては先行投資フェーズから利益貢献フェーズへ移行する見込みとなっており、外部企業等との連携による取り組みも加速しており、更なる成長のための基盤は拡大しております。またカーペトリサイクル事業においては、オフィス等の原状回復工事の増加により廃カーペットタイトルの受入処理量は増加していることに加えて2021年4月以降は処理受託の価格改定を行い安定した収益基盤の構築を実現しました。また世界的なナイロン素材不足の影響もあり、当社のリサイクルナイロン樹脂「REAMIDE(リアミド)」への引き合いは増加しており、生産性改善による生産量の増加と原価低減を継続して進め、生産高及び売上高を更に増加させることで利益貢献事業へと進化させる予定です。さらに、ソリューション事業においてはライセンス契約やコンサルティング受託、設備販売、設備設計業務受託など収益源を拡大する受注活動が進捗しており今後の収益増に貢献していく見込みです。

産業廃棄物処理事業においては、過去からの継続的な営業活動の強化が増加する原状回復工事の受注獲得につながり、当下期連結会計期間では過去最高の受注件数、売上、利益を達成し今後も積極的な営業活動を継続することで安定的な収益基盤の強化に努めてまいります。

この結果、当連結会計年度における業績につきましては、売上高2,722,743千円(前年同期比1.0%増)、営業損失50,167千円(前年同期は営業損失178,586千円)、経常損失74,525千円(前年同期は経常損失208,217千円)、親会社株主に帰属する当期純損失170,550千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失268,937千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、記載のセグメント別売上高はセグメント間取引の相殺前の数値です。

(再生樹脂製造販売事業)

再生樹脂製造販売事業につきましては、当下期連結会計期間において収益が大幅に改善いたしました。原状回復工事増加に伴う廃カーペットタイトル受入処理量が増加し、廃棄漁網等をリサイクルしたナイロン樹脂「REAMIDE(リアミド)」の生産性を改善することにより生産量増加による売上拡大とともにコスト圧縮によって赤字が縮小しております。ソリューション事業において、ライセンス契約、コンサルティングの受託などにより収益は増加しております。また、大日本印刷株式会社(本社:東京都新宿区/代表取締役社長:北島義斉)やアライアンス・フォー・ザ・ブルー(ALLIANCE FOR THE BLUE)*などの外部企業との連携も拡大、深化しており将来の成長のための基盤は拡大しております。しかし上期連結会計期間での落ち込みもあるため通期での連結会計期間では、売上高は前年同期比で減少となりましたが、営業利益は前年同期で増加となりました。

この結果、売上高は997,894千円(前年同期比4.2%減)となり、セグメント損失は166,939千円(前年同期はセグメント損失197,765千円)となりました。

(産業廃棄物処理事業)

産業廃棄物処理事業につきましては、下期連結会計期間は受注件数及び売上、利益ともに過去最高を記録いたしました。解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスを強みに営業活動を強化してきたことが、増加する原状回復工事の受注獲得に大きく貢献しました。新型コロナウイルスの影響が未だ見通せない中、徹底したコストコントロールを実施したことにより収益力は向上しており、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加しております。

この結果、売上高は1,753,235千円(前年同期比5.2%増)、セグメント利益は293,476千円(前年同期比36.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,225,373千円となり、前年度末と比べ269,916千円増加しております。これは主として現金及び預金が74,160千円、受取手形及び売掛金が127,351千円、商品及び製品が30,148千円、未収還付法人税等が30,651千円それぞれ増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定資産は1,667,281千円となり、前年度末と比べ209,263千円減少しております。これは、主として有形固定資産が122,004千円減少、繰延税金資産が71,067千円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における繰延資産は21,983千円となり、前年度末と比べ18,046千円減少しております。これは、開業費の償却18,046千円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は773,456千円となり、前年度末と比べ79,082千円増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が22,843千円、未払金が41,706千円それぞれ増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,770,660千円となり、前年度末と比べ69,778千円減少しております。これは、主として長期借入金が56,602千円、長期リース債務が10,967千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は370,522千円となり、前年度末と比べ33,301千円増加しております。これは、主として資本金が289,594千円減少、資本剰余金が296,749千円減少、利益剰余金が614,902千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、488,493千円(前連結会計年度比17.9%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は62,573千円(前連結会計年度得られた資金は54,704千円)となりました。これは、主として税金等調整前当期純損失84,417千円、減価償却費220,878千円の計上に加え、売上債権が130,213千円、たな卸資産が35,843千円、仕入債務が22,843千円、未払金が41,073千円それぞれ増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は56,953千円(前連結会計年度支出された資金は143,971千円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出57,448千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は68,539千円(前連結会計年度得られた資金は145,065千円)となりました。これは主に短期借入金の減少75,001千円、株式の発行による収入199,250千円、およびリース債務返済による支出50,612千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループが2021年7月1日付けで単独株式移転により持ち株会社体制に移行したことに伴い、当社株式会社リファインパースグループの完全子会社となり、2021年6月29日をもって上場を廃止致しました。今後の見通しにつきましては、2021年8月13日付けで株式会社リファインパースグループが公表する「2022年6月期通期業績予想に関するお知らせ」をご確認ください。

* ALLIANCE FOR THE BLUE 石油化学をはじめ、日用品・飲食品・包装材メーカー・小売・リサイクル等、多業種が連携し、商品開発・共同研究等を促進するため、日本財団が発起人となり設立されたアライアンスです。新たな海洋ごみの発生防止、既に発生した海洋ごみの削減をテーマに、各企業と協働し、商品の企画から流通・製造・消費・処分・再利用といった一連の各過程で一貫した対策を行い、資源循環型社会・サーキュラーエコノミーを実現するモデル構築を目指しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,770	534,930
受取手形及び売掛金	277,392	404,743
商品及び製品	149,771	179,920
仕掛品	2,057	11,780
原材料及び貯蔵品	41,766	37,738
前払費用	19,992	19,638
未収消費税等	—	1,589
未収還付法人税等	—	30,651
その他	5,064	6,457
貸倒引当金	△1,358	△2,076
流動資産合計	955,457	1,225,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	946,810	952,372
機械装置及び運搬具	1,111,097	1,150,153
工具、器具及び備品	83,957	94,031
土地	102,100	102,100
リース資産	234,675	274,944
建設仮勘定	13,889	10,926
減価償却累計額	△865,895	△1,079,897
有形固定資産合計	1,626,635	1,504,630
無形固定資産	14,952	22,589
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	116,597	45,530
敷金及び保証金	100,491	90,368
その他	9,293	8,804
貸倒引当金	△11,424	△24,641
投資その他の資産合計	234,957	140,060
固定資産合計	1,876,545	1,667,281
繰延資産		
開業費	40,030	21,983
繰延資産合計	40,030	21,983
資産合計	2,872,032	2,914,638

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,496	60,339
短期借入金	75,001	—
1年内返済予定の長期借入金	305,272	372,602
リース債務	42,820	47,961
未払金	121,066	162,773
未払費用	63,663	67,752
未払法人税等	9,269	2,923
未払消費税等	34,297	43,169
その他	5,486	15,933
流動負債合計	694,373	773,456
固定負債		
長期借入金	1,501,298	1,444,696
リース債務	117,987	107,019
繰延税金負債	24,252	36,962
資産除去債務	153,917	154,824
その他	42,983	27,158
固定負債合計	1,840,438	1,770,660
負債合計	2,534,812	2,544,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,219	149,625
資本剰余金	487,258	190,508
利益剰余金	△598,713	16,188
自己株式	△142	—
株主資本合計	327,621	356,321
新株予約権	9,598	14,200
純資産合計	337,220	370,522
負債純資産合計	2,872,032	2,914,638

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,694,690	2,722,743
売上原価	2,182,154	2,008,923
売上総利益	512,535	713,819
販売費及び一般管理費	691,122	763,986
営業損失(△)	△178,586	△50,167
営業外収益		
受取利息	106	4
受取配当金	8	9
助成金収入	9,802	27,172
受取保険金	2,091	—
その他	3,010	3,362
営業外収益合計	15,018	30,548
営業外費用		
支払利息	24,727	27,179
開業費償却	18,046	18,046
その他	1,874	9,680
営業外費用合計	44,649	54,906
経常損失(△)	△208,217	△74,525
特別利益		
固定資産売却益	—	79
新株予約権戻入益	208	1,983
特別利益合計	208	2,063
特別損失		
固定資産除却損	3,799	0
固定資産売却損	708	—
減損損失	—	1,600
貸倒引当金繰入額	—	10,355
特別損失合計	4,507	11,955
税金等調整前当期純損失(△)	△212,516	△84,417
法人税、住民税及び事業税	12,508	2,356
法人税等調整額	43,912	83,776
法人税等合計	56,421	86,132
当期純損失(△)	△268,937	△170,550
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△268,937	△170,550

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純損失(△)	△268,937	△170,550
包括利益	△268,937	△170,550
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△268,937	△170,550
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	439,219	487,258	△329,775	△96	596,605	8,089	604,695
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△268,937		△268,937		△268,937
新株の発行					—		—
減資					—		—
資本剰余金から利益剰余金への振替					—		—
自己株式の取得				△46	△46		△46
自己株式の消却					—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	1,508	1,508
当期変動額合計	—	—	△268,937	△46	△268,983	1,508	△267,474
当期末残高	439,219	487,258	△598,713	△142	327,621	9,598	337,220

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	439,219	487,258	△598,713	△142	327,621	9,598	337,220
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△170,550		△170,550		△170,550
新株の発行	99,625	99,625			199,250		199,250
減資	△389,219	△389,219	778,439		—		—
資本剰余金から利益剰余金への振替		△7,012	7,012		—		—
自己株式の取得					—		—
自己株式の消却		△142		142	—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	4,601	4,601
当期変動額合計	△289,594	△296,749	614,902	142	28,699	4,601	33,301
当期末残高	149,625	190,508	16,188	—	356,321	14,200	370,522

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△212,516	△84,417
減価償却費	205,821	220,878
減損損失	—	1,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,081	13,936
受取利息及び受取配当金	△114	△13
支払利息	24,727	27,179
固定資産除売却損益(△は益)	4,507	△79
売上債権の増減額(△は増加)	70,503	△130,213
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,466	△35,843
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,072	22,843
未払金の増減額(△は減少)	△19,755	41,073
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,041	13,388
未収消費税等の増減額(△は増加)	24,338	△1,589
その他	△16,308	6,904
小計	4,556	95,646
利息及び配当金の受取額	114	13
利息の支払額	△25,042	△26,967
法人税等の支払額	△6,696	△6,122
法人税等の還付額	81,772	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,704	62,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△49,436	△36,001
定期預金の払戻による収入	46,435	36,000
有形固定資産の取得による支出	△139,852	△57,448
有形固定資産の売却による収入	2,459	80
無形固定資産の取得による支出	△4,030	△10,229
敷金及び保証金の差入による支出	△299	△30
敷金及び保証金の戻入による収入	752	10,575
その他	—	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,971	△56,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75,001	△75,001
長期借入れによる収入	500,000	560,000
長期借入金の返済による支出	△371,992	△549,272
リース債務の返済による支出	△40,753	△50,612
株式の発行による収入	—	199,250
自己株式の取得による支出	△46	—
割賦債務の返済による支出	△17,143	△15,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,065	68,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55,798	74,159
現金及び現金同等物の期首残高	358,535	414,333
現金及び現金同等物の期末残高	414,333	488,493

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「再生樹脂製造販売事業」及び「産業廃棄物処理事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生樹脂製造販売事業」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉砕加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「産業廃棄物処理事業」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,031,655	1,663,034	2,694,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,136	3,737	13,873
計	1,041,792	1,666,771	2,708,563
セグメント利益又は損失(△)	△197,765	214,464	16,699
セグメント資産	2,026,277	1,307,664	3,333,942
その他の項目			
減価償却費	158,721	47,039	205,760
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	170,599	24,493	195,092

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	972,676	1,750,066	2,722,743
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,218	3,169	28,387
計	997,894	1,753,235	2,751,130
セグメント利益又は損失(△)	△166,939	293,476	126,537
セグメント資産	1,972,661	1,528,156	3,500,818
その他の項目			
減価償却費	174,226	46,298	220,525
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	44,402	63,708	108,111

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,708,563	2,751,130
セグメント間取引消去	△13,873	△28,387
連結財務諸表の売上高	2,694,690	2,722,743

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,699	126,537
全社費用(注)	△267,093	△242,634
セグメント間消去	72,146	72,152
未実現利益の調整額	△338	△6,222
連結財務諸表の営業損失	△178,586	△50,167

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,333,942	3,500,818
セグメント間の債権の相殺消去	△606,090	△779,483
全社資産(注)	152,647	205,829
未実現利益の調整額	△8,466	△12,525
連結財務諸表の資産合計	2,872,032	2,914,638

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	205,760	220,525	—	—	60	353	205,821	220,878
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	195,092	108,111	—	—	—	—	195,092	108,111

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	全社・消去	合計
減損損失	1,600	—	—	1,600

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	107円42銭	107円98銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△88円18銭	△52円42銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△268,937	△170,550
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失金額(△)(千円)	△268,937	△170,550
普通株式の期中平均株式数(株)	3,049,826	3,253,246

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	337,220	370,522
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	9,598	14,200
(うち新株予約権(千円))	(9,598)	(14,200)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	327,621	356,321
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	3,049,821	3,299,821

(重要な後発事象)

当社は、2021年7月1日に、当社単独による株式移転により持ち株会社である「株式会社リファインバースグループ」を設立いたしました。株式会社リファインバースグループの設立に伴い、完全子会社となる当社株式は、同年6月29日付で上場廃止となり、同年7月1日付で株式会社リファインバースグループが東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。

4. その他

該当事項はありません。